

3T3-L1 細胞脂肪蓄積抑制試験

脂肪蓄積を評価する細胞系として広く知られているマウス前駆脂肪細胞 3T3-L1 を用いて、検体が脂肪蓄積に与える作用を調べます。脂肪前駆細胞から脂肪細胞へと分化誘導される際に、細胞内に蓄積される脂肪滴を Oil Red O 色素で染色し、脂肪蓄積に対する作用を調べます。

試験方法

3T3-L1 細胞を脂肪細胞へ分化誘導した後、脂肪細胞に蓄積した脂肪滴を親油性色素 Oil Red O を用いて染色することにより脂肪蓄積量を測定致します。未処置対照の脂肪蓄積量に対する試験液添加時の脂肪蓄積量から脂肪蓄積率を算出致します。

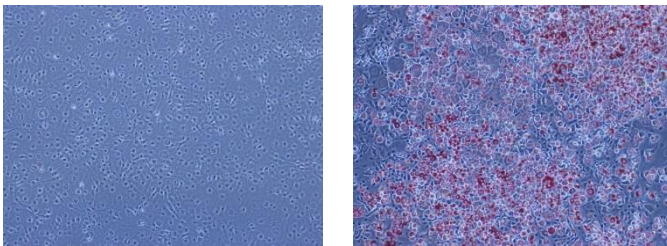


図-1 Oil Red O 染色後の 3T3-L1 細胞
(左 ; 未分化, 右 ; 分化誘導後)

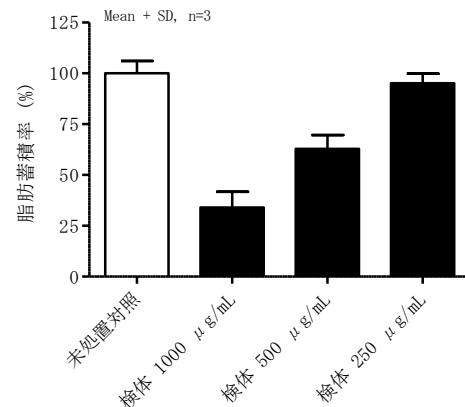


図-2 試験結果例

検体必要量

必要量 : 約 10 g (10 g 未満の場合はお問い合わせください。)

注意点

水に不溶の検体は試験をお受け出来ない場合がございます。また、いずれも検体数や検体の性状などにより変動致しますので、まずはお問い合わせください。

試験設計など、詳細につきましてもお気軽にご相談ください。